

# 長期財政試算増減比較表(H20-H28累計)

長期財政試算にあたり、H20試算はH19決算を基に、H21試算はH20決算を基に推計しています。

【歳入】

単位:百万円

区 分	H20試算	H21試算	増減	理 由
<b>自主財源</b>	<b>70,697</b>	<b>66,451</b>	<b>4,246</b>	
市税	47,993	43,954	4,039	H20試算は、H20予算に基づき固定資産の評価替えによる減額のみを勘案したが、H21試算では6月の調定額から市民税の減、固定資産の評価替え、下落修正分、たばこ税の減を勘案
分担金・負担金	2,080	2,165	85	H20実績に基づき見直し
使用料・手数料	2,610	2,528	82	H20実績に基づき見直し
財産収入	1,510	637	815	H20実績に基づき見直し
寄附金		58		
繰入金	6,300	5,582	718	歳入・歳出の見直しに伴う基金による財源調整額の減
繰越金	1,470	2,067	597	H21試算で実質収支額を4億円、そのうち2億円を決算積立と想定したことによる増
諸収入	8,734	9,460	726	H21予算に基づく中小企業融資預託金等の増
<b>依存財源</b>	<b>77,868</b>	<b>78,303</b>	<b>435</b>	
譲与税・交付金	8,216	7,830	386	H20実績に基づく見直し
地方交付税	31,794	34,967	3,173	H20試算では、H21から 1.5%で推計 H21試算では、H21は地財計画からの2.7%の増と清算分を見込み算出。H22は清算分を差し引き、H23以降はH20と同額を計上
国庫支出金	13,562	13,454	108	対象事業の見直しによる減
県支出金	7,318	7,582	264	対象事業の見直しによる増
市債	16,978	14,470	2,508	投資的経費の減に伴う、起債対象事業の減少による減
<b>歳入合計</b>	<b>148,565</b>	<b>144,754</b>	<b>3,811</b>	

## 【歳出】

単位:百万円

区 分	H20試算	H21試算	増減	理 由
義務的経費	58,199	56,530	1,669	
人件費	23,238	23,176	62	H20の実績と人員削減計画による推計
扶助費	18,859	17,896	963	H20実績に基づき見直し
公債費	16,102	15,458	644	起債対象事業の減少による借入額の見直しに伴う減
投資的経費	29,053	22,025	7,028	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎耐震対策 2,000(3,000 1,000)</li> <li>・まちづくり交付金事業1,564(2,702 4,266)</li> <li>・ごみ焼却施設新 86(3,123 3,037)</li> <li>・最終処分場の先送りによる減 1,230</li> <li>・東西線整備事業等の見直し 165(1,185 1,020)</li> <li>・合併浄化槽補助金 327(1,106 779) 維持管理補助金を維持補修費で計上したことによる減</li> <li>・その他通常投資的経費を過大に見込んでいたことによる減</li> </ul>
その他の行政経費	58,825	62,391	3,566	
物件費	15,662	17,063	1,401	H20実績に基づき見直し
維持補修費	1,110	1,793	683	施設等の老朽化による維持補修の増を想定
補助費	14,655	18,710	4,055	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20試算では後期高齢者医療広域連合負担金を繰出金に計上していたことによる増(H21試算額3,702)</li> <li>・佐久広域連合負担金452(3,870 4,322)</li> </ul>
積立金	325	1,014	689	公募債の継続実施による償還金の積立の増
投資・出資・貸付金	7,560	7,594	34	
繰出金	19,513	16,217	3,296	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20試算で後期高齢者医療広域連合負担金を補助費で計上したことによる減(H20試算額3,480)</li> <li>・介護保険事業特会222(4,348 4,570)</li> <li>・農業集落排水事業特会135(1,239 1,374)</li> </ul>
歳出合計	146,077	140,946	5,131	